

みんなで取り組む防災・減災

ねっちゃんの防災知恵袋

▼地震災害を教訓に

こんにちは、ねっちゃんです。能登半島地震発災から4カ月経ちましたが、その間にニュースや新聞で被災地の「トイレ問題」がよく取り上げられています。

「避難所のトイレ事情」

避難所のトイレは、不特定多数の人が使用します。その中にマナーの悪い人がいると、衛生的な状態を保つことが困難になってしまいます。便器にビニール袋を取り付け、凝固剤を入れる携帯トイレを使っていた避難所の中には、備えが少なかったため1回分を何回も使うという事態になり、臭いが充満してしまう避難所もあったそうです。

「健康への悪影響」

トイレが汚れていたり、臭いがひどかったりすると、行くことをためらうようになります。しかし、「排せつ」という生理現象は、自分ではコントロールすることができ



ません。被災者の中には、トイレの回数を減らすために食事や水分摂取を控えてしまい、体調を崩してしまう方もいました。

「食事よりもトイレについて声」

避難生活のアンケート調査では、トイレの衛生環境の悪化が一番の問題点であると回答した人が多くいたようです。食事よりもトイレの備蓄を優先するべきだ、と言う専門家もいます。

ご家庭にトイレ対策の備蓄は含まれていますか？



まずは、家族の人数×5回(1日×1週間(7日)分)を目標に備蓄を進めてみてはいかがでしょうか？

▼防災対策課

☎ 23 3548

環境戦隊たはらエコーレンジャー



環境けいじばん



堆肥散布による悪臭などの発生防止にご協力を！

これから夏場にかけて、農地への堆肥散布の時期を迎えます。

堆肥を使用する際には次の点に注意し、生活環境の保全と水質汚濁・悪臭などの防止にご協力ください。

● 完熟堆肥の使用

十分発酵させた悪臭を伴わない完熟堆肥を使用する。

● 散布後の鋤き込み

雨天により散布後の鋤き込みがすぐにできないことのないよう、天候に注意する。

● 生活環境への配慮

住居や観光施設に近い農地に散布する場合は、生活環境に十分配慮し、悪臭、害虫、粉じんや汚水が発生しないようにする。

● 過剰な堆肥散布をしない

地下水汚染の原因にもなるため、過剰な堆肥散布はやめる。

畑や畜産場の適正管理に努めましょう！

畑に堆肥を散布した後は、直ちに鋤き込みをお願いします。鋤き込まずに放置すると、雨風によって河川に流れ込み、河川や海が汚れる要因の一つになります。

また、堆肥の一部が河川に堆積し、悪臭を放ちます。

畜産業者の方は、設備(浄化槽)のこまめな点検を行い、場内を清潔に保ち、汚水や処理が不十分な排水が河川や海に流出しないようご協力をお願いします。田原市の豊かな環境を守りましょう。



▼環境政策課

☎ 23 3541